

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑨子どもの遊びの理解と支援

- ◆ 今回の研修を終えて、子どもの遊びが発達に欠かせないものだと思います。遊びの中で仲間をつくり、その仲間との共通性や自分の個性をつくり上げたり、生活に必要な知識を遊びの中から学び、私自身も子どもたちと遊びながら子どもの理解に合わせた教え方を心がけていきたいです。自分の子どもの頃を思い浮かべ、子どもに寄り添いながら今後の活動ができればいいなと思いました。
- ◆ 今回の研修を通して、改めて遊びの大切さを感じることができました。他児との関わりを通して共通性や自分の個性に気付くことができ、成功体験や失敗体験をたくさん経験することによって発達につながっていきます。特に非認知的能力が大事で、好奇心が豊かであること、失敗してもあきらめないこと、自己肯定感をもてることが大切です。また、未来を生きていく子どもたちにとって、個人と社会の相互関係能力、自己と他者との相互関係能力、自律的に行動する能力の3つの力が必要です。一人一人積極的に遊びに参加できるよう子どもの側に立ち、子どもと関わり対応していきたいです。
- ◆ 子どもの遊びの大切さは、研修中幾度か再確認してきましたが、改めて自主的な遊びを行うことが人間力を身に付けていく上で必要なことだと思います。一緒に空を眺めることも遊びのうちだという言葉聞き、何気ない日常が大切だと思います。また、援助に関しては、子どもと同じ目線に立ち、気持ちを受け止めて、子どもに尊敬の心で接するよう努めたいです。
- ◆ 今の世の中では一人で遊べる物が溢れていますが、様々な経験や人との関わりを遊びを通して味わえる育ちの場として、放課後児童クラブの存在が重要であると思いました。遊びの中で人との関わり方や思いやりの気持ち、社会のルール等を学べる瞬間を共に過ごせる大人として、一番に子どもの気持ちに共感したり、主張を尊重してあげられる存在でいたいと思いました。一人一人を丁寧な眼差しで見たいです。
- ◆ 人として成長するための遊びの役割がいかに重要であるかを細かく知ることができました。遊びの中から成功体験と失敗体験を通して、他者との関わり方やコミュニケーション能力が育っていくことから、大切な時間を支援していく責任を感じました。免疫力が培われるのは外遊びであること、遊びと学びは渾然一体のものであること、放課後は非認知能力を伸ばすことのできる時間が大きいことを学びました。子どもの心を言葉と動きなどから気付いて、察してあげたいです。